

ディボーション質問表



24日(月) 伝道者の書 11:1~10

1. 投資すること(1節)、周りの人を祝福すること、信頼すること(2節)、人は法則の下にいること(3節)、リスクを恐れたり、未来を恐れたりすることの愚かさ(4節)が書かれています。これらの忠告に従うコツは何でしょうか(5~7節)?
2. 人生を生き抜いた人からのアドバイスです(8~10節)。ここから学べることをくみ取り、今日何ができるかを考えてみましょう。

25日(火) 伝道者の書 12:1~14

1. 1~4節は、世界に最後があることを忠告しています。どうすべきだと語りかけているのでしょうか?
2. 7節には何と書いてありますか? 13節では人の歩む道は何だと語っていますか? 今歩んでいる道はどうでしょうか。振り返ってみましょう。

26日(水) 雅歌 1:1~8

雅歌はソロモン王によって記されました。彼は多くの妻や愛人を持つ者で、そのこと自体は神に喜ばれるものではありませんでしたが、シュラミテの女との関係は神と人間との愛の關係にたとえられるある種、ピュアなものであったようです。男女が互いを意識し、つきあい、結婚し、お互いの性を享受する規範としてもすばらしい書です。

1. 1~4節前半はシュラミテの女、4節後半はエルサレムの娘達、5~7節はシュラミテの女、8節はエルサレムの娘達のことばです。もちろんテーマは愛ですが、この箇所から、愛が人にどのような喜びをもたらしていると思いますか?
2. この女はソロモンを愛しながらも葛藤しています。わたしたちと神との愛の關係に葛藤をもたらすものは何でしょう。またそれをとりのぞくには何が必要だと思いますか?

27日(木) 雅歌 1:9~17

9~10節はソロモン、11節はエルサレムの娘達、12~14節はシュラミテの女、15節はソロモン、16~17節はシュラミテの女です。

1. 神はもちろん私たちの主です。しかし、同時に最高の愛の対象でもあります。私たちはどのように神への愛をことばで表現しますか? 今日、神の美しさを自分のことばで言い表してみましょう。
2. あなたは自分の配偶者や恋人に対してどのように愛を表現していますか? 神の知恵を求めつつ、実践してみましょう。

28日(金) 雅歌 2:1~7

1~2節ソロモン、3~6節シュラミテの女、7節ソロモンです。

1. この箇所から愛の性質について何か新しい発見はあるでしょうか? 今まで自分が考えていた愛とどのように違うでしょうか?
2. 結婚という制度を通して神は人間が互いの性を楽しむことを許されています。現代社会はそのプロセスに従ってはいません。このような社会であなたはどのように神に従っていきますか? またとりなして祈りましょう。

29日(土) 雅歌 2:8~16

8~13シュラミテの女、14ソロモン、15歌、16~17シュラミテの女です。

1. ここで2人は互いに会うことを熱望しています。結婚前の男女の付き合いの中で何か参考になることはありますか?
2. 春の季節が2人の愛情關係を象徴しています。乱れた男女關係でもなく、かといって禁欲主義でもない愛情關係についてイメージしてみましょう。
3. 男女の出会いは聖いものだという認識を深めるために、この中の節をどれか覚え、神の前に黙想してみましょう。